

気仙沼高等学校

校訓 究理創造 和親協同 至誠励業



1 基本データ

創立：平成30年
 課程・学科：全日制課程・普通科
 生徒数：618名
 所在地：〒988-0051
 気仙沼市常楽130
 TEL：0226-24-3400
 FAX：0226-24-3408

ホームページアドレス：
<https://kesennuma-h.myswan.ed.jp>
 電子メールアドレス：
 kesennuma-h@od.myswan.ed.jp
 主な交通機関：
 JR 気仙沼線BRT（高速バス輸送システム）で
 「不動の沢」下車 徒歩10分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

飛翔の翼 世界へと

勉強、部活動、学校行事、交流事業など、日々あらゆる場面を通して、21世紀を生き抜く力を確実に身につけ、世界を舞台に活躍する人材を育てます。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は、昭和2年に県内9番目の旧制中学校として開校した旧気仙沼高校と、大正12年に町立実科女学校として開校した旧鼎が浦高校が、平成17年4月に再編統合され、さらに平成30年度には気仙沼西高校との統合を経て開校した学校です。3つの学校の80年に及ぶ良き伝統を継承し、活力ある教育活動や先進的な取り組みを展開して、地域の期待にこたえられる学校づくりを進めます。大学進学を中心とした多様な進路の達成に向けた学習指導(45分7時間授業)や部活動の奨励を行っています。また、国際交流・地域文化交流に積極的に取り組み、英語教育の充実を図りました。震災後は、支援事業を契機として他県の高校や各種団体との交流活動を積極的に進め、平成28年度より令和2年度まで文部科学省のスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定され、令和3年度からはSGHネットワーク校として、海を素材とするグローバルリテラシーの育成を目指しています(平成30年度 ESD 大賞文部科学大臣賞受賞)。

(2) 教育方針

- I 新しい時代に対応できる学力の形成を図り、創造的な能力の啓発に努め、国家及び社会の形成者としての資質を養う。
- II 心身を鍛え、豊かな情操と協同の精神を培い、個性の伸長を図る。
- III 地域の自然や文化を尊び、国際的視野に立ち、志の実現を自ら目指し学び続ける人材を育成する。

(3) 教育課程の特徴

本校の教育課程は、一人一人の進路目標を第一に考えた教育課程です。大学入試制度の変更にも十分対応しています。1年生は全クラス共通の授業で、学習の基礎・基本をしっかり身につけます。2年生は、創造人文類型、創造理数類型の2類型に分かれて学習しています。創造人文類型は国語で、創造理数類型は理科で単位数を増やしています。また、両類型とも課題研究で課題解決型学習に多く取り組みます。3年生は、具体的な進路希望に応じた科目を選択し、学習します。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

主な行事予定は以下のとおりです。

- 4月 生徒会入会式、部紹介
- 5月 生徒総会、高校総体壮行式
- 7月 球技大会
総合的な探究の時間最終発表会
- 8月 文化祭
- 10月 運動祭
英語スピーチコンテスト
- 11月 生徒総会
- 12月 修学旅行(2年)
- 1月 地域社会研究・課題研究・総合的な探究の時間全体発表会

運動部は16部、文化部は15部あり、毎日質の高い活動が展開されます。令和5年度は、フェンシング部が全国高等学校総合体育大会男子学校対抗第3位、女子学校対抗出場、個人対抗男子エペで第3位、第8位となりました。さらに、第48回全国高校選抜大会では団体フルーレで男子準優勝という結果を残すなど、全国屈指の強豪です。文化部では、美術部が第24回高校生国際美術展で佳作に入賞、文芸部が第38回全国高等学校文芸コンクールで優良賞、第5回万葉の郷ととりけん全国高校生短歌大会で団体準優勝の結果を残しました。さらにマンドリン部は全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールで優良賞を受賞しました。その他の活動では、高校生地産地消お弁当コンテスト(宮城県主催)県知事賞や優秀賞を受賞し商品化されました。学校行事はいつでも生徒主体で運営され、笑顔と活気に満ちています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R5	R4	R3
国公立大学	37	41	32
国公立短大	2	2	3
私立大学	89	89	102
私立短大	2	6	16
専各学校	51	50	59
就職	17	19	8
その他	8	9	17
卒業生計	206	216	237

主な進路先(令和6年3月卒業生)、
 ()内は人数 (1)は省略。

<国公立大学>

弘前大学、岩手大学(11)、宮城教育大学、山形大学(4)、福島大学(4)、茨城大学(2)、宇都宮大学、東京学芸大学、釧路公立大学、青森県立保健大学(2)、岩手県立大学、宮城大学、秋田県立大学、秋田公立美術大学、会津大学、滋賀県立大学、京都府立大学、福山市立大学、県立広島大学

<私立大学>

慶應義塾大学、青山学院大学(2)、中央大学(4)、東洋大学(3)、駒澤大学、東京農業大学、東海大学、亜細亜大学、帝京大学(3)、北里大学、獨協大学、武蔵野大学(2)、フェリス学院大学、横浜薬科大学、東北学院大学(10)、東北福祉大学(12)、東北医科薬科大学(2)、東北工業大学(5)、宮城学院女子大学(4)、尚絅学院大学(2)、仙台青葉学院大学、石巻専修大学、仙台大学(4)、東北芸術工科大学(2) 他

<専修各種学校>

気仙沼市立病院附属看護専門学校(3)、石巻赤十字看護専門学校、国際医療福祉大学塩谷看護専門学校、獨協医科大学附属看護専門学校、慈恵看護専門学校、仙台大原簿記情報公務員専門学校(5)、東北電子専門学校 他

<就職>

宮城県職員一般事務、気仙沼市役所(4)、仙台市職員消防士(2)、刑務官、一般財団法人休暇村協会休暇村気仙沼大島、株式会社阿部長商店サンマリン気仙沼ホテル観洋(2) 他

<その他>

台湾国立中山大學 他

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

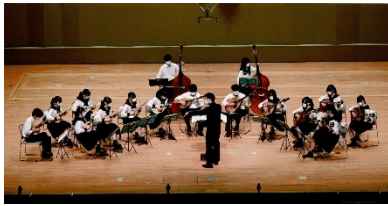
フェンシング部2年連続全国選抜準V!

第48回全国高等学校選抜フェンシング大会が令和6年3月20～22日まで長崎県島原市で開催され、本校フェンシング部が男子団体フルーレで2年連続準優勝の快挙を達成しました。また、令和5年度全国高等学校総合体育大会でも男子学校対抗3位になるなど、全国屈指の強豪として活躍しています。



マンドリン部は2つの全国大会へ

マンドリン部は令和6年7月27～28日に大阪府吹田市で開催される「全国高校ギター・マンドリン音楽コンクール」と、8月4～5日に岐阜市で開催される「第48回全国高等学校総合文化祭 清流の国ぎら総文2024 器楽・管弦楽部門」に出場することが決定しました。全国高校コンクールは2年連続、全国総文祭は2年ぶりの出場となります。



マンドリン部は令和6年7月27～28日に大阪府吹田市で開催される「全国高校ギター・マンドリン音楽コンクール」と、8月4～5日に岐阜市で開催される「第48回全国高等学校総合文化祭 清流の国ぎら総文2024 器楽・管弦楽部門」に出場することが決定しました。全国高校コンクールは2年連続、全国総文祭は2年ぶりの出場となります。

文芸部も全国級の活躍!

令和5年11月4日、鳥取市で開催された「第5回万葉の郷ととりけん全国高校生短歌大会」で、本校文芸部は団体準優勝を果たしました。また、個人では第38回全国高等学校文芸コンクール短歌部門と詩部門で優良賞を獲得しました。さらに、気仙沼市内で展示会や歌会を開くなど、活動の幅を広げています。



調理部はお弁当コンテスト上位の常連

令和5年度高校生地産地消お弁当コンテストにおいて、本校調理部員による「メカの甘酢あんかけクルクル弁当～気仙沼さ来る来る～」が最高賞である宮城県知事賞を、「海・里山いかすメカジキめし弁当」が優秀賞をそれぞれ獲得し、令和6年2月に期間限定発売され好評を博しました。調理部はこのコンテストに毎年参加し、常に上位の成績を残しています。



(2) 主な学校行事

球技大会

例年7月上旬に、2日間にわたって行われ、バスケットボール、バレーボール、サッカー、ドッジビーの各種目(実施種目は毎年検討)を行い、クラスごとに競い合います。クラスで一致団結し、楽しそうに競技を行う姿が印象的です。



気高祭

毎年8月最終金・土曜日に開催されます。文化部各部の発表・展示、ピアノバトル、動画コンテスト等、充実した企画が行われます。ハイクオリティな文化部の発表・展示や、工夫が凝らされたクラス動画を全校生徒が楽しめます。

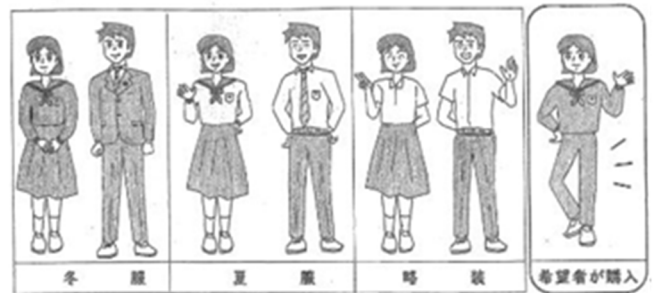


探究活動発表会

本校では1学年「地域社会研究」2学年「課題研究」全学年「総合的な探究の時間」と、生徒全員が探究学習に取り組んでいます。その成果を7月と1月に公開で発表しています。アドバイザーとして大学の先生方や地域のNPO法人の皆さんをお招きし、探究の成果を発表します。



(3) 学校制服紹介



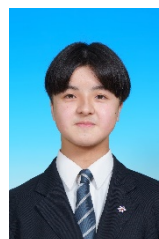
本校 荒木校長作 学校紹介パンフ『日日は気高』より

2005年の統合に伴い、スーツタイプの男子制服を制定しました。女子は、長年地元で支持されてきた旧鼎が浦高校の制服デザインを引き継いでいます。また、女子生徒向けスラックスも導入しています。

4 在校生からのメッセージ

皆さんの高校生活の目標はどのようなものでしょうか。勉強や部活動等、人それぞれの目標があることと思います。気高生の多くは自分の目標達成の為に全力で取り組んでおり、先生方も熱心に指導してください。自分の目標を達成できるような環境が気仙沼高校にはあります。また、各行事も盛んで、生徒一人一人が全力で取り組んでいます。何事にも熱くなれる気仙沼高校で学校生活を送ってみませんか。

生徒会長 小松 輝 (3年)



高校生になると今までに比べてさらに広い視野で、また広い分野でたくさんのことに挑戦することができます。気仙沼高校にはそのために必要な様々な機会や指導して下さる先生方にもとても恵まれています。この絶好の機会を逃さずに勉強や部活動など多様な面で、各々高校生活を悔いのない実りあるものにしていきましょう。

生徒会副会長 佐々木 健進 (3年)